

# 雲南の山と自然

山の日制定を記念して

日程： 2014年12月5日（金）から  
2015年1月26日（月）まで

会場： 京都大学時計台1階サロン

[www.wildlife-science.org/yama/](http://www.wildlife-science.org/yama/)

「……雲南での野外調査を終えて、基地となる街のリージャン（麗江）で、その森林局長の李さんと知り合った。彼が見せてくれたのは、雲南の山々の空撮写真だった。森林局長という職責で、山々の様子を空から観察し続けてきたのだ。だれも見ることがない、空の上からの雲南の山々が写っていた。雲南の山とキンシコウ、そうした未知の自然をぜひ多くの方を分かち合いたいと思い、この写真展を企画した。これからも、未踏の山を求めるように、未知のキンシコウを探し求めたい。」

京都大学霊長類研究所教授・松沢哲郎



主催：京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院  
京都大学霊長類研究所



京都大学  
霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

# 雲南の山と自然

## Mountains and Wildlife in Yunnan China

Photo exhibition of the snowy mountains and the snub-nosed monkeys



本邦初公開となる、雲南の梅里雪山（メイリーシュエシヤン、6740m）の空撮や、孫悟空のモデルともいわれる雲南キンシコウの未知の生態をお届けします。発足が国会で承認されて2016年8月11日から実施される「山の日」の啓発行事であり、京大士山岳会にとっては梅里雪山1991年遭難等の鎮魂の機会でもあります。詳細は、以下のHPをご参照ください。  
<http://www.wildlife-science.org/yama/2014-12.html>

※本企画は山岳フォーラム2014の一環で松本市のご協力を得て実施したものの巡回展です。



**会期** 平成26年12月5日(金)～平成27年1月26日(月)  
**時間** 9時～21時30分：初日は午後3時から／最終日は午前12時まで  
※12月9日は京大サロンで他イベントがあるため、17時からご入場いただけません。  
**会場** 京都大学・百周年時計台記念館「京大サロン」展示壁面  
**観覧** 無料  
**主催** 京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

## 特別講演会

**会場** 京都大学百周年時計台記念館2階 会議室IV

写真展にあわせ関係者による特別講演を行います。 ※申し込み不要／直接会場にお越しください。



12月12日(金) 17:00～18:30

**講師** 松沢 哲郎 京都大学霊長類研究所教授

**概要:** 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院の写真展「雲南の山と自然」とリーディング大学院の説明会を行います。



12月27日(土) 17:00～18:30

**講師** 松林 公蔵 京都大学東南アジア研究所教授

**演題:** 「ヒマラヤ登山と高地住民高齢者の健康—フィールド医学の現場から—」

**概要:** ヒマラヤ高所登山では、急激な低酸素にともなって生体に顕著な変化がおこります。一方で、長い時間をかけて低酸素に適応をはたした高地住民が4千メートル付近でも生活しています。本講演では、ヒマラヤ登山の低酸素適応(高所順化)と高地住民の暮らし(高所適応)を紹介しします。



1月4日(日) 17:00～18:30

**講師** 小林 尚礼 写真家／カワカブ会代表

**演題:** 「雲南の最高峰・梅里雪山 その自然と聖地の魅力」

**概要:** 雲南省の最高峰梅里雪山で、17人の登山隊員が遭難したのは1991年のことです。それ以来、友人でもある彼らの遺体を探しながら、チベット語でカワカブ(白い雪)と呼ばれるこの山に15年以上通い続けてきました。その過程で見えてきた梅里雪山の自然の限りない奥深さや、大聖山として崇められる山の魅力について、最新の現地訪問報告も交えお話しします。



1月16日(金) 17:00～18:30

**講師** 山越 言 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科准教授

**演題:** 「アジア・アフリカの里山と人びとの暮らし」

**概要:** 人類が山岳に挑むようになったのは近代以降のことですが、それ以前から、また現代でも、自然に依存して暮らす人びとは山を畏れ敬い、護り、また生活の場として利用しながら生きてきました。近代と地域の人びとの自然観の違いに注目して、世界各地の環境保全活動の将来について考えてみます。